

項目	内容
名称	ユーカリ、ユーカリノキ、ユーカリプタス [英]Eucalyptus、blue gum、Tsmanian blue gum.southern blue gum [学名]Eucalyptus globulus Labill、Eucalyptus bicostata、Eukalyptus smithii、Eucalyptus odorata
概要	<p>ユーカリは、オーストラリア原産で、世界各地で栽培されている常緑高木である。</p>  <p>多くの種類、変種があり、中には高さ100 mにも及ぶものもある。生育するのに多くの水を必要とする。伝統的にアボリジニの治療薬として使用されてきた。生薬名は「アンヨウ」。葉を水蒸気蒸留して得られたユーカリ油は、精油のまま大量に摂取すると中毒を起こして死亡することもあり、注意が必要である。</p> <p><small>写真提供: 広島大・医歯薬・生薬学研究室</small></p>
法規・制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食薬区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ユーカリ (ユーカリノキ/ユーカリ油) 葉、精油：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 ■ 日本薬局方 <ul style="list-style-type: none"> ・ユーカリ油が収載されている。 ■ 食品添加物 <ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト ユーカリ油が収載されている。 ■ 特定保健用食品

・ユーカリ抽出物を関与成分とし、「歯茎の健康保持」の保健用途が表示できる特定保健用食品が許可されている。

■ 海外情報

・米国では、GRASに該当する。

成分の特性・品質

主な成分・性質

・葉に精油0.9～2.8%を含み、1,8-シネオール、ピネン、カンフェン、テルピネオール、などからなる(29)。他にフラボノイド(ルチン、クエルセチン、クエルシトリンなど)、タンニンなどを含む(29)(33)。

分析法

調べた文献の中に見当たらない。

有効性

ヒト 循環器・呼吸器での評価

RCT

・経口ステロイド治療を受けている気管支喘息患者32名(32～75歳、試験群16名、ドイツ)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、プレドニゾロン(抗炎症薬:CYP3A基質)と共に1,8-シネオール(ユーカリ油主成分)200mg×3回/日を12週間摂取させたところ、投薬量を減らすことができた([PMID:12645832](#))。

・慢性閉塞性肺疾患患者220名(試験群110名、平均62.2±9.1歳、ドイツ)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、通常の治療に加えてシネオール(ユーカリ油主成分)200mg×3回/日を6ヶ月間摂取させたところ、症状悪化の回数、日数、重症度スコアの改善が認められたが、肺機能(1秒量、努力肺活量、肺活量)、総症状スコアに影響は認められなかった([PMID:19624838](#))。

・喘息患者247名(試験群126名、平均52.3±14.0歳、ドイツ)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、通常の治療に加えてシネオール(ユーカリ油主成分)200mg×3回/日を6ヶ月間摂取させたところ、呼吸機能(FEV)、夜間喘息、喘息QOL(AQLQ)の改善が認められた([PMID:22978309](#))。

消化系・肝臓

調べた文献の中に見当たらない。

糖尿病・内分泌

調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器

調べた文献の中に見当たらない。

脳・神経・感覚器

調べた文献の中に見当たらない。

免疫・がん・炎症

調べた文献の中に見当たらない。

骨・筋肉

調べた文献の中に見当たらない。

発育・成長

調べた文献の中に見当たらない。

肥満

調べた文献の中に見当たらない。

その他

RCT

・健康な成人15名(平均25歳、日本)を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、ユーカリ抽出物0.3%含有のガムを4日間、1日3回、10分間かんだところ、プラーク形成を抑制した([PMID:9838746](#))。

・歯肉炎患者97名(日本)を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験におい

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(PMID:12645832\) Respir Med. 2003; 97\(3\):250-6.](#)
[\(PMID:9838746\) J Oral Sci. 1998; 40\(3\):115-7.](#)
[\(PMID:21928376\) Phytother Res. 2012; 26\(3\):458-61.](#)
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シエヴァリエ
(78) 食品添加物インデックスPLUS [第4版] 和名・英名・E No.検索便覧 (公社)
日本輸入食品安全推進協会 中央法規
(2004102231) 日本救急医学会関東地方会雑誌. 2003;24:310-11.
[\(PMID:15384148\) Rapid Commun Mass Spectrom. 2004; 18\(19\):2273-81](#)
[\(PMID:18672986\) J Periodontol. 2008; 79\(8\):1378-85.](#)
[\(PMID:19624838\) Respir Res. 2009; 10:69.](#)
[\(PMID:21867365\) Clin Toxicol \(Phila\). 2011; 49\(8\):750-1.](#)
[\(PMID:22978309\) J Asthma. 2012; 49\(8\):849-53.](#)
[\(PMID:5440307\) Eur J Pharmacol. 1970; 9\(3\):362-6.](#)